

平成26年度奈良県一斉地震行動
(シェイクアウト) 訓練実施報告書

平成26年8月6日
奈良県知事公室防災統括室

目次

1 訓練の概要

(1) シェイクアウト訓練について	1
(2) 目的	1
(3) 訓練の特徴	1
(4) 訓練内容	2
(5) 事前の周知について	3
(6) 事前の参加登録方法	4

2 実施結果

(1) 参加登録者	4
(2) 市町村別の参加登録者数	5
(3) 連動した訓練の実施内容	7
(4) 訓練後の報道内容	7

3 アンケート結果

(1) 実施方法	8
(2) 結果内容	8
① 参加形態	
② 訓練情報の入手先について（複数回答あり）	
③ 訓練実施場所	
④ 訓練開始の合図	
⑤ 事前学習の有無	
⑥ 訓練に参加して気づいたこと	
⑦ 訓練に対する意見・要望	

4 次年度実施に向けて

(1) 訓練の事前周知について	14
(2) 訓練開始の合図について	14

資料編

○ 参加団体一覧	16
○ 啓発リーフレット	24
○ 駅貼りポスターの掲載	26
○ 訓練の様子	27

1 訓練の概要

(1) シェイクアウト訓練について

2008年にアメリカで始まった地震に備える防災訓練で、ホームページなどを通じて防災の普及啓発を図り、決められた時刻に一齐に参加者全員が机の下に隠れるなど身の安全を図る行動を実践し、自宅や地域、職場などでの日頃の防災対策を確認するきっかけづくりとなる訓練である。日本では2012年に東京都千代田区で実施されたのを皮切りに、その後都道府県や市町村単位を中心に全国的な広がりをみせており、2013年には2,337,230人が参加した。奈良県としては、2014年の訓練が初めての開催となる。

(2) 目的

県民が地震の発生を想定し、7月9日の奈良県地震防災の日の午前10時30分に一齐にそれぞれの場所において、地震から身を守る行動の確認を行うことにより、県民自らの防災意識を高め、防災対策に取り組む契機とすることを目的とした。

① 県民の地震から身を守る行動の確認

地震の際の正しい安全確保行動を県民が身につけることにより、地震による死者や負傷者を一人でも減らす。

② 県民の防災意識の向上

県内一齐に訓練を実施することにより、県民の防災意識を高める。また、訓練を機会とした地震・防災に関する知識の習得や避難場所・避難経路の確認、非常持出品の確認等により、各自の防災対策の強化につなげる。

③ 「奈良県地震防災の日」の周知

7月9日が、平成26年4月に成立した「奈良県地域防災活動推進条例」において制定された「奈良県地震防災の日」であることを広く県民に周知する。

(3) 訓練の特徴

訓練開始から約1分間、地震から身を守る「安全確保行動」を実施するもので以下の特徴が挙げられる。

① 短時間で終わり負担をかけず誰でも参加しやすい。

② 訓練時間の自分の置かれた状況において最善の「安全確保行動」を考え行動することにより、効果を実感できる。

③ 訓練により、身の回りにどのような危険が存在しているかを知るきっかけになり、地震対策の理解が深まり、知識が増える。

④ 学校や職場、自主防災組織等の団体で参加することにより、災害時の助け合いの大切さがわかり、自助・共助の大切さを実感できる。

(4) 訓練内容

本県の訓練では、「安全確保行動」の実施だけでなく、事前の防災学習や安全確保行動と連動した訓練を推奨し実施した。訓練内容の詳細は以下のとおりである。

- 主催 奈良県
- 協力 シェイクアウト提国会議
- 実施日時 平成26年7月9日（水） 10時30分開始
※7月9日（水）10時30分に開始できない場合は、「奈良県地震防災週間」7月5日（土）～7月13日（日）の間で各自実施

- 参加費 無料
- 参加予定者 訓練参加を希望する個人又は学校・企業等の団体
- 災害想定 南海トラフを震源域とする大規模な地震の発生
- 訓練方法

1, 事前学習

下記の資料を参考に地震・防災に関する知識の習得を推奨。

- ・ わが家の災害対策（奈良県）
- ・ The Great Japan Shake Out（日本シェイクアウト提国会議）
- ・ 防災マニュアル～震災対策啓発資料～（総務省消防庁）
- ・ 緊急地震速報リーフレット（気象庁）

2, 訓練当日

（個人・家族参加の場合）

- ① 実施時間までに、訓練開始時間の午前10時30分にタイマーをセットしておく。
- ② 実施時間までは、普段どおりに日常生活を続ける。
- ③ 訓練開始時間（午前10時30分）にそれぞれの場所において、「安全確保行動1－2－3」を実施。（約1分間）
「安全確保行動1－2－3」



まず低く 頭を守り 動かない

安全行動1 姿勢を低くする（DROP）

地震の揺れに伴う転倒を防止し、その場から動かされないようにするため、姿勢を低くする。

安全行動2 体や頭を守る（COVER）

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。机など隠れる場所がない場合は、手や腕、カバンや本など、身近なもので頭を守る。

安全行動3 揺れが収まるまで動かない (HOLD ON)

揺れている間に動くのは危険なので、揺れが収まるまで、1分くらいその場に留まり、動かないようにする。

- ④ 訓練終了後に、避難場所・避難経路の確認、非常持出品の確認を行うなど、防災対策に取り組む。

(団体参加の場合)

- ① 実施時間までは、普段どおりに日常生活を続ける。
- ② 訓練開始時間（午前10時30分）に、館内放送やかけ声等を通じて参加者に訓練開始の伝達を実施し、それぞれの場所において、「安全確保行動1-2-3」を実施。（安全確保行動は、個人・家族参加の場合と同様）
- ③ 訓練終了後に、関連訓練も含めた検証を実施。

(5) 事前の周知について

訓練の参加啓発を図るため、県ホームページへの掲載や県民だより奈良、各種メディア等を通じ、広く県民や県内企業に対する事前周知を実施した。

① 県ホームページ

○5月27日から訓練に関するページを開設。

○啓発リーフレット、訓練方法、事前参加登録の方法、身を守る基本行動の説明、館内（校内）放送の例文及び訓練放送の音源などを掲載。

② 県民だより奈良

○7月号の「県政スポット」のコーナーで紹介。

③ 新聞（括弧内は掲載日）

○奈良新聞（5/31） ○産経新聞（6/12） ○毎日新聞（6/27）

○朝日新聞（7/6） ○読売新聞（7/6）

④ テレビ（括弧内は放送日）

○NHK 奈良放送局『防災知恵袋』（6/27）

○奈良テレビ『県政フラッシュ』（6/28）

⑤ FM放送（括弧内は放送日）

○ならどっとFM『県政ほっとライン』（6/27）

○FMハイホー『県政HOTインフォメーション』（6/27）

⑥ シェイクアウト提唱会議ホームページ

○提唱会議からシェイクアウト訓練の認定後、6月6日から奈良県の訓練に関するページを開設。

⑦ 市町村による広報

○県内市町村のうち広報紙により訓練を紹介した団体が11市町、ホームページにより紹介した団体が7市町村。

⑧ 駅貼りポスター（括弧内は掲載期間）

○県内の近鉄及びＪＲの 27 駅（6/19～7/9）

⑨ メールマガジン（括弧内は配信日）

○奈良県広報広聴課から配信される奈良県メールマガジン「大仏さんのつぶより情報」（6/10 配信）

○奈良県産業振興総合センターから県内企業向けに配信されるメールマガジン（6/12 配信）

(6) 事前の参加登録方法

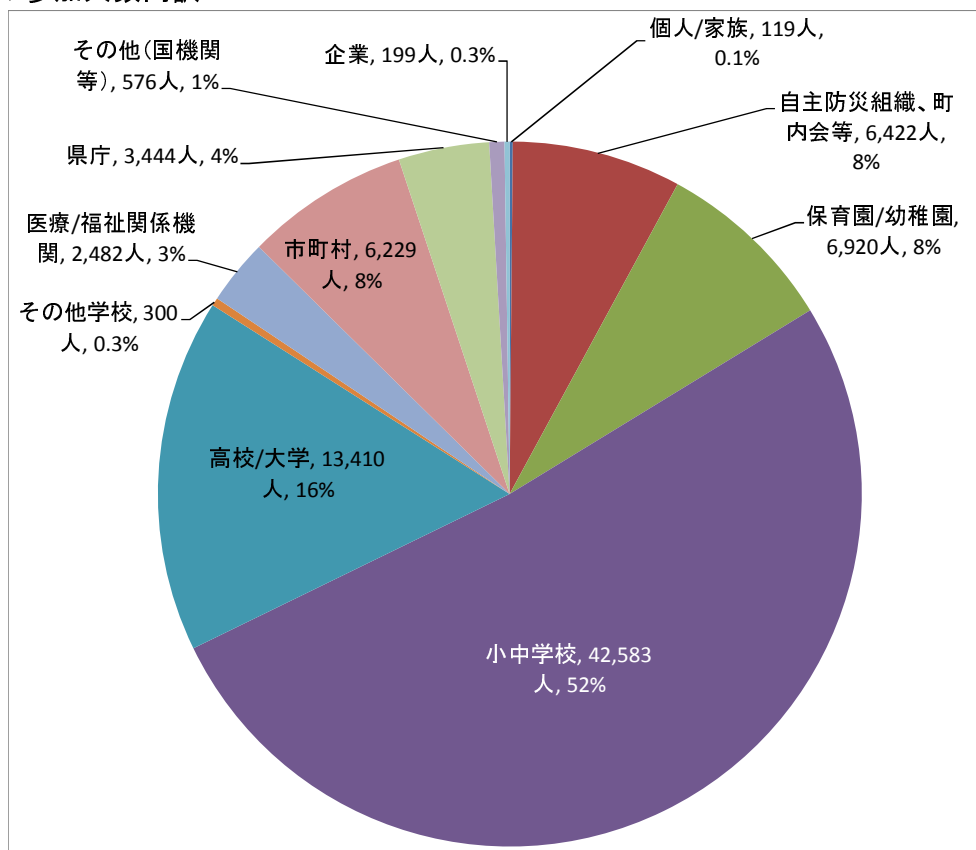
訓練の参加受付については、奈良県電子自治体共同運営システム「e-古都なら」を利用した電子申請及びＦＡＸにて実施した。また、県内市町村による訓練や県庁内の訓練は、独自で県が参加受付をとりまとめた。

2 実施結果

(1) 参加登録者

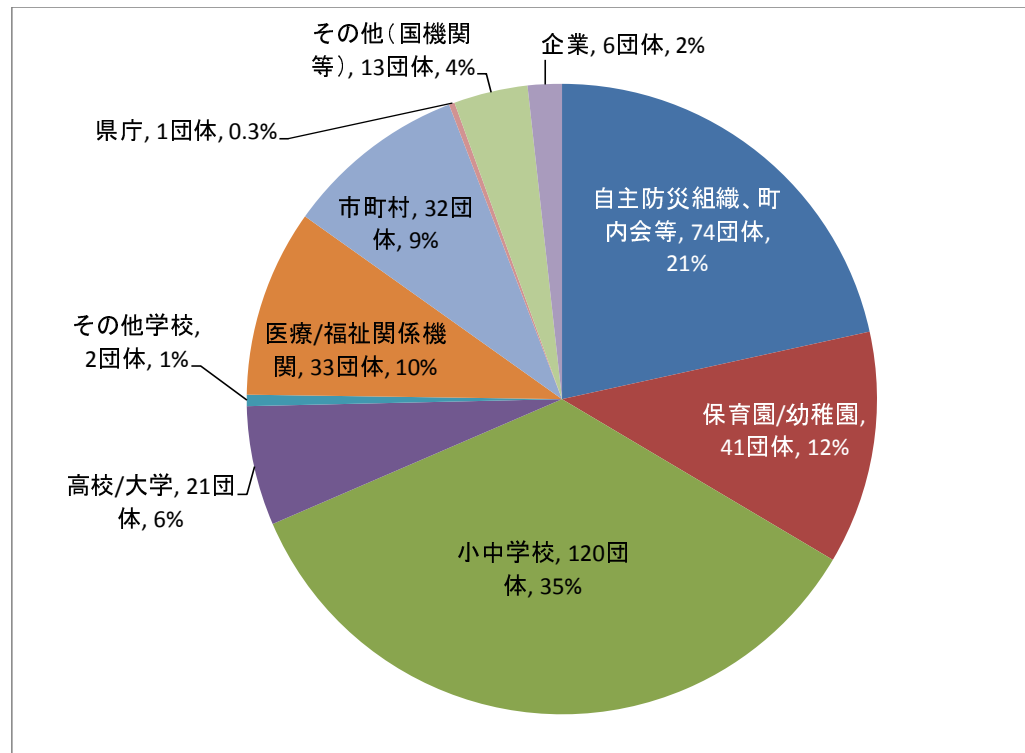
シェイクアウト訓練の参加登録人数は、82,684人となった。参加形態別では、小中学校で42,583人（52%）、高校・大学で、13,410人（16%）と保育所・幼稚園で6,920人（8%）と教育関係機関で3／4以上を占めた。

▼参加人数内訳



参加団体の内訳としては、小中学校などの教育関係機関で約半数（54％）を占めているが、自主防災組織等で74団体（21％）、医療福祉関係施設で33団体（10％）の参加登録があった。

▼参加人数内訳



※参加団体一覧は資料編に記載

(2) 市町村別の参加登録者数

県内市町村別の参加登録者数について、市部では奈良市や天理市、桜井市、五條市、生駒市、宇陀市で人口に対する参加人数が5％を超えた。町村部では、平群町や三宅町、高取町、上牧町、広陵町で人口に対する参加人数が5％を超えた。管内の教育関係機関や自主防災組織等に広く参加を呼びかけ、参加登録につなげた市町村が高い参加率となった。

（次ページに市町村別の参加登録者の内訳表）

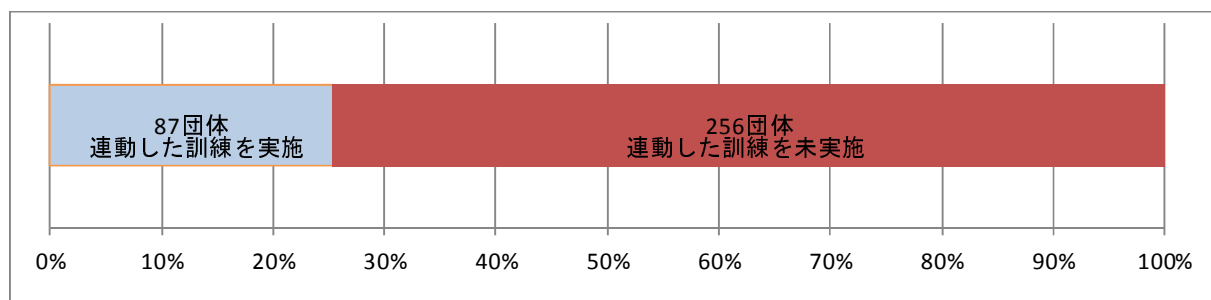
▼市町村別の参加登録者数内訳

	参加人数(A)	推計人口(6月)(B)	A/B
奈良市	34,447	362,848	9.49%
大和高田市	1,725	65,863	2.62%
大和郡山市	382	87,260	0.44%
天理市	5,990	67,843	8.83%
橿原市	3,178	125,244	2.54%
桜井市	3,493	58,595	5.96%
五條市	2,538	32,246	7.87%
御所市	389	28,032	1.39%
生駒市	10,229	119,462	8.56%
香芝市	1,413	77,463	1.82%
葛城市	284	36,379	0.78%
宇陀市	2,373	31,813	7.46%
山添村	70	3,766	1.86%
平群町	2,073	18,839	11.00%
三郷町	837	23,485	3.56%
斑鳩町	1,287	27,426	4.69%
安堵町	270	7,679	3.52%
川西町	50	8,603	0.58%
三宅町	1,177	7,089	16.60%
田原本町	701	31,888	2.20%
曽爾村	10	1,660	0.60%
御杖村	10	1,857	0.54%
高取町	1,056	7,298	14.47%
明日香村	87	5,521	1.58%
上牧町	2,324	22,902	10.15%
王寺町	969	22,683	4.27%
広陵町	3,838	33,709	11.39%
河合町	568	18,018	3.15%
吉野町	202	7,770	2.60%
大淀町	414	18,261	2.27%
下市町	74	6,255	1.18%
黒滝村	0	746	0.00%
天川村	40	1,384	2.89%
野迫川村	0	468	0.00%
十津川村	112	3,644	3.07%
下北山村	33	879	3.75%
上北山村	0	601	0.00%
川上村	40	1,395	2.87%
東吉野村	0	1,867	0.00%
県外市町村	1		
合計	82,684	1,378,741	6.00%

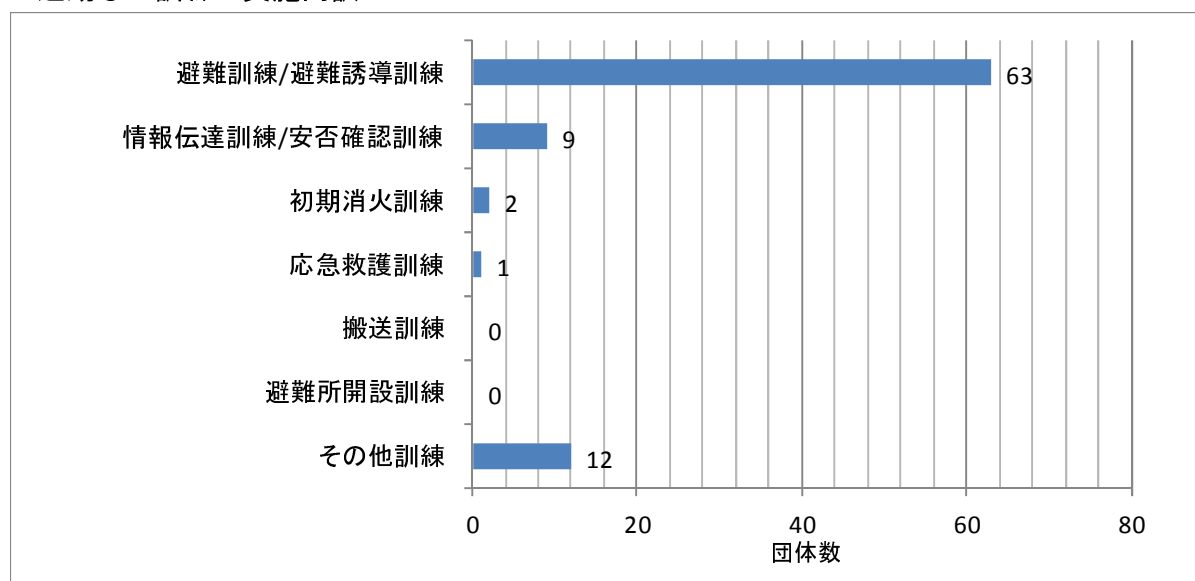
(3) 連動した訓練の実施内容

参加登録のあった団体のうち、87団体（全体の25.4%）が地震から身を守る訓練（安全確保行動）に加えて、連動した訓練を実施した。連動した訓練の内容としては、避難（誘導）訓練や情報伝達訓練、安否確認訓練、初期消火訓練などを実施した。

▼連動した訓練の実施状況



▼連動した訓練の実施内訳



(4) 訓練後の報道内容

① 新聞（括弧内は掲載日）

○朝日新聞（7/10） ○奈良新聞（7/10） ○毎日新聞（7/10）

② テレビ（括弧内は放送日）

○NHK 奈良放送局『ニュース』『ならナビ』（7/10）

○奈良テレビ『ゆうドキッ!』『県政フラッシュ』（7/10）

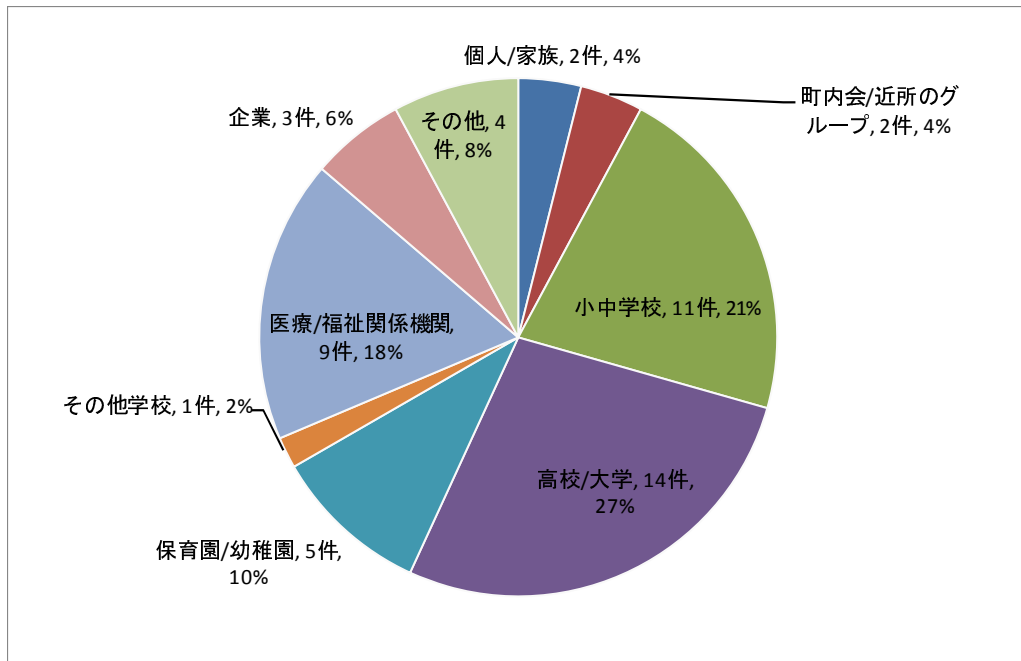
3 アンケート結果

(1) 実施方法

参加者へのアンケートは、訓練当日の7月9日から7月25日までの間に、奈良県電子自治体共同運営システム「e-古都なら」を利用した電子申請及びFAXにて回答を受け付けた。質問項目は、全8項目、有効回答数は51件であった。

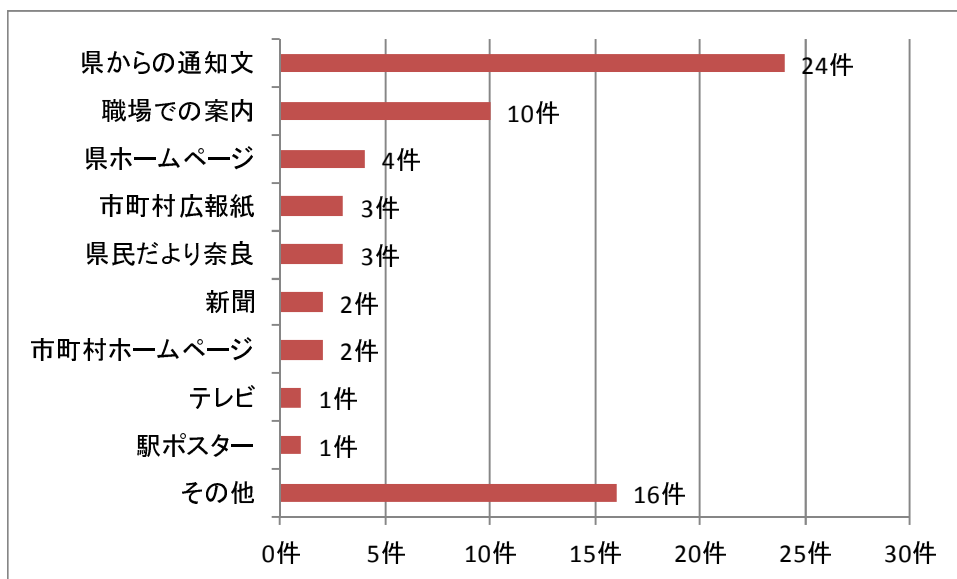
(2) 結果内容

① 参加形態



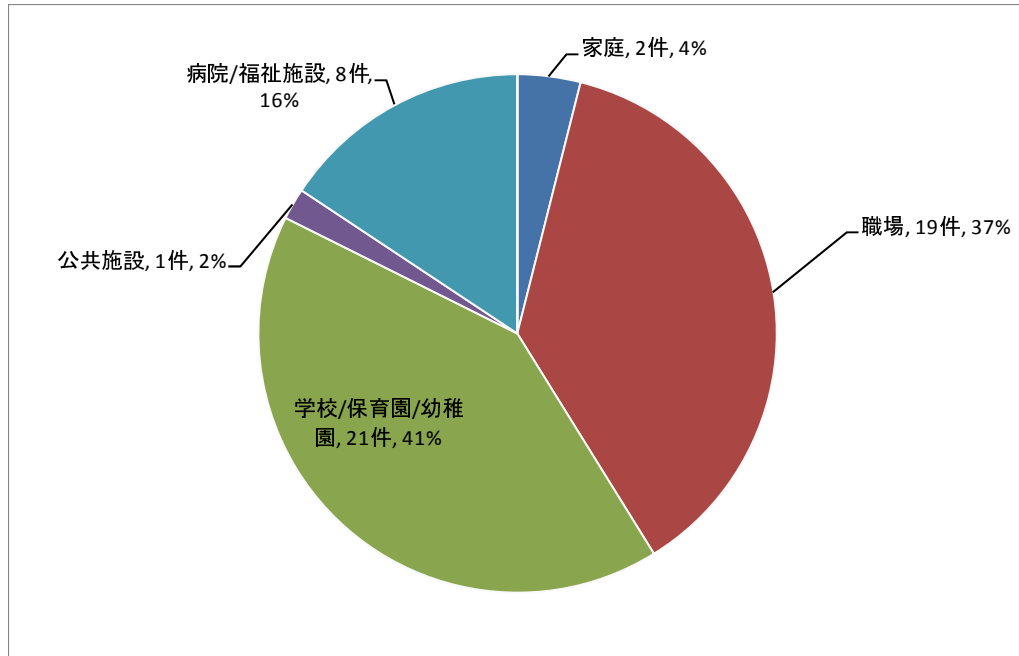
② 訓練情報の入手先について（複数回答あり）

多くの参加が、県からの通知文（24件）や、職場での案内（10件）で訓練開催の情報を入手した。



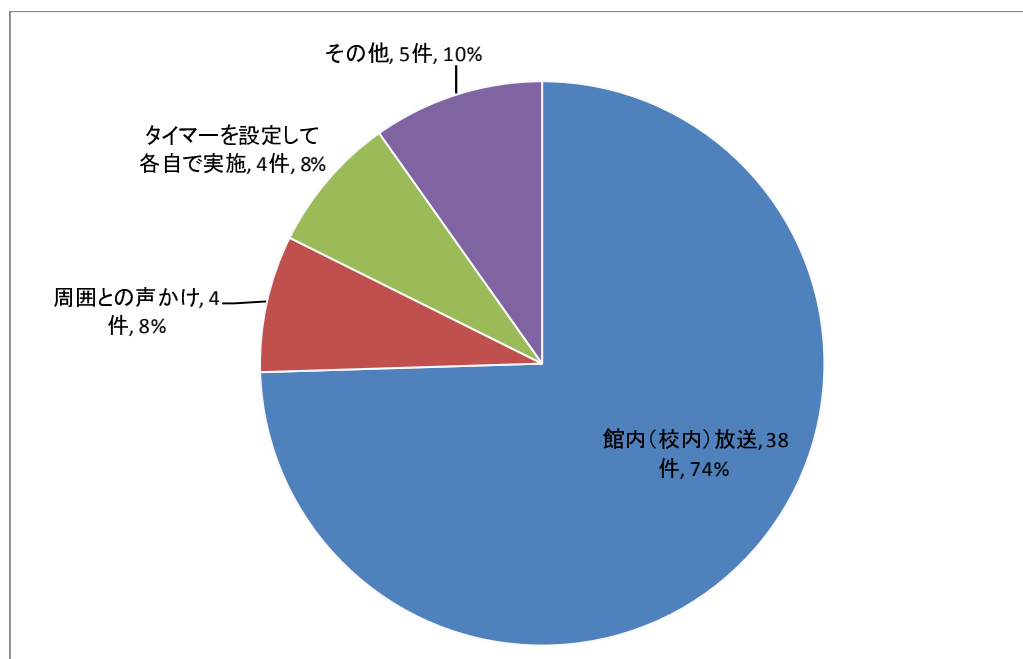
③ 訓練実施場所

大半の参加者は「職場（37%）」や「学校/保育園/幼稚園（41%）」、「病院/福祉施設（16%）」において訓練を実施した。



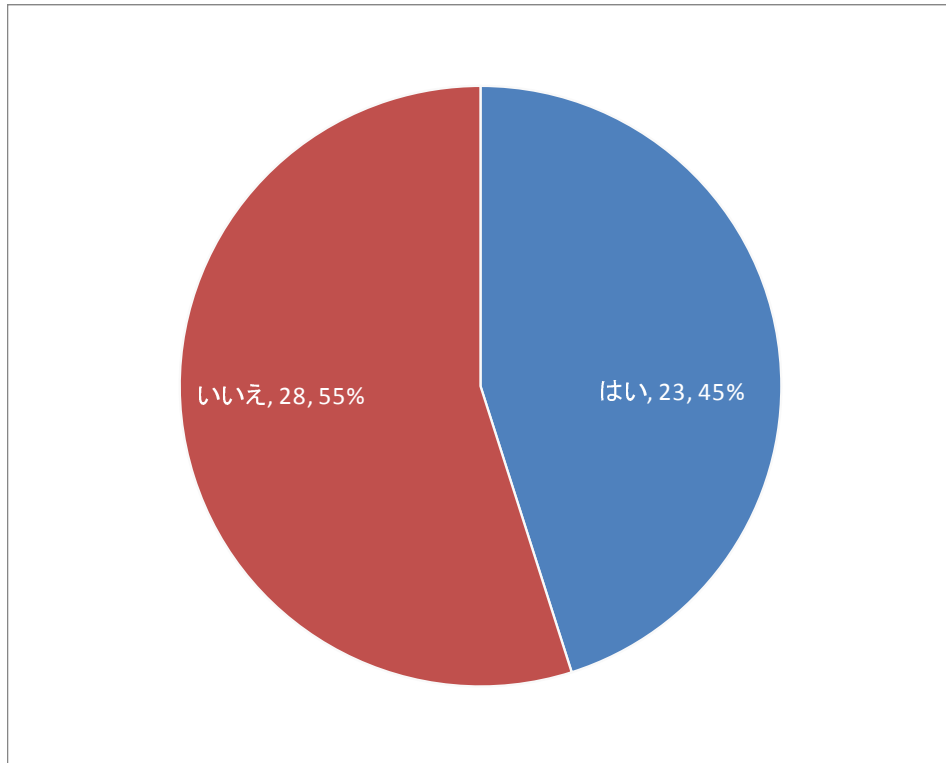
④ 訓練開始の合図

約 4 分 3 の参加者が館内（校内）放送の合図により、訓練を開始した。

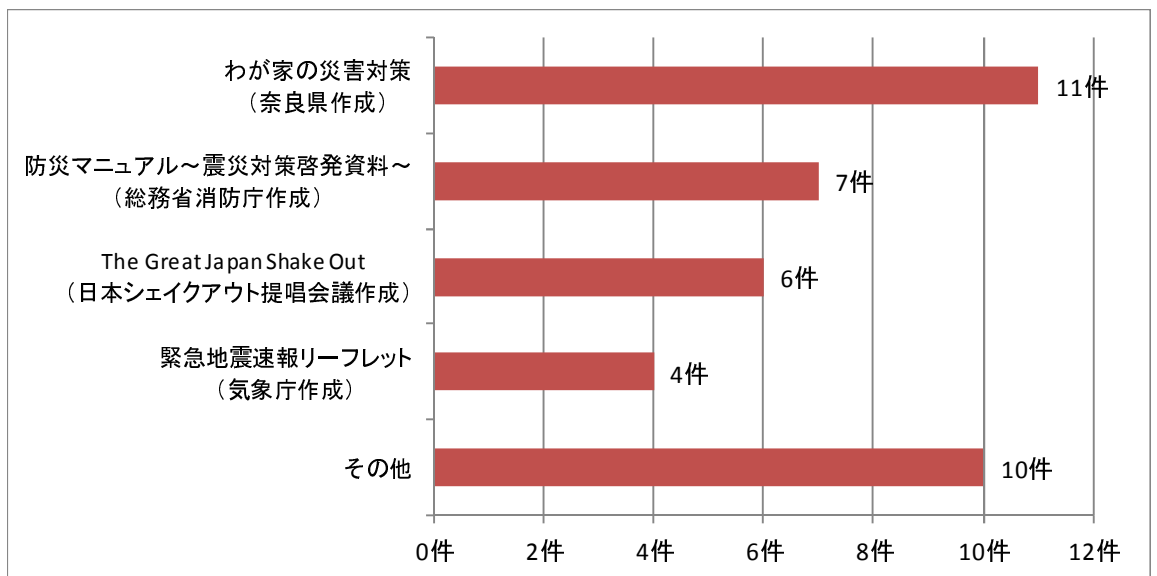


⑤ 事前学習の有無

訓練実施の事前に、地震・防災に関する知識の習得をしたかとの問において、約半数(45%)の参加者が事前学習を実施したと回答した。



また、事前学習を実施したと回答した参加者に、どのような教材を使用したかとの問に対しては、以下のとおりとなった。(複数回答あり)



⑥ 訓練に参加して気づいたこと（主な回答を抜粋）

【安全確保行動や避難行動について】

- ・机の下にもぐろうとしたら体が入らなかった。頭では取るべき行動が分かっている、実際にやってみると、思いもしていなかった簡単なことができないことに気づいた。[高校/大学]
- ・自分自身の身を守ることの大切さを知ることが出来た。日頃には行わない行動の為、緊急時にできるよう繰り返しの訓練が必要と感じた。[企業]
- ・地震が発生した場合に机の下にもぐるのはなかなか抵抗があると感じました。訓練とわかっていても、対応出来なかったのが本当に災害が起きたときちゃんと対処できるか不安になった。[町内会/近所のグループ]
- ・職場でも防災訓練を実施しているが、これまで安全確保行動をとったことが無く、直ぐに避難していたが、先ずは、1分間ほどではあるが、安全を確保することが重要であることを再認識した。[企業]
- ・今回、地震に対しての訓練を初めて行った。施設としてやらなければならない行動を参加職員は学べたのではないかなと思う。具体的には、安全行動をとること、揺れがおさまった後の行動（安全・安否確認）、火元の確認、施設内での情報伝達等を学べた。[医療/福祉関係機関]
- ・今までは避難誘導の事やライフラインストップなどの訓練はしていたが、今回の訓練で大型地震が発生した時の事を考えると、まず何をしなければならぬかと考えると今回のような、まず頭をさげて姿勢を低くすることの重要性がわかった。[医療/福祉関係機関]
- ・運動場での行動はしゃがむことができたが、屋外プールでの行動は、難しいものがあつた。[小中学校]
- ・地震の揺れを感じたらまずしゃがんで身の安全を確保するというのが新鮮だった。初期微動の段階では、ぼーっと立ち尽くして、大きく揺れ出してから慌てるが多かったように思う。初期微動の細かいゆれで、まず姿勢を低くしてゆれに備え、安全を確保したいと思った。[小中学校]
- ・本校では、全学年休憩時間であったが、その時間帯で訓練できたことがよかったと思います。多くの場合、授業時間帯に行うので、教室以外のところでどうしたらよいか考えさせるとともに具体的に行動するよい機会となった。[小中学校]
- ・避難訓練は年間計画に則って実施しているが、今回役所への報告など、普段では出来ない訓練が出来、優先順位は何かなどを再認識することができた。有事の際に、今回の訓練のように出来ないかもしれませんが、一通りの動きとして体得できたように思う。子どもたちの命を守るために、職員がどのように動き、何を確認しなければならないか、このような機会を与えてもらったことによって、何度も共通理解をはかり、打ち合わせを重ねました。このこと自体が大事なことで改めて感じた。[保育園/幼稚園]
- ・施設内で安全な場所が思いのほか少ない事に気付いた。特養・養護の

入所者への安全行動の周知についても困難（認知症等）であり、「入浴や排泄中の場合どうするのか？」や「今回は館内放送により連絡のやり取り等を実施したが、放送設備が遮断されたらどうするのか？」などの意見も出た。地震による火災発生を防ぐために、厨房の火の取扱い、ボイラーの電源の管理やロッカーや戸棚の上の物品の整理の必要性も改めて感じた。[医療/福祉関係機関]

【訓練手法について】

- ・ 奈良県から発信していただいたおかげで、生徒・職員にはシェイクアウト訓練が馴染みのあるものになり、奈良県で学んでいるのだから「真剣に取り組まなければならない」という雰囲気が自然と生まれた。「Drop! Cover! Hold on!」といった身を守るための行動をシンプルに表現していただいたおかげで、一連の行動を容易に自動化することができた。「安全確保行動を1分間行ってください」というシンプルな指示も現場から「簡単に生徒に徹底することができた」といったような、よい意味で「手軽さ」を感じた訓練だった。生徒・職員が災害時にパニックを起こして情報を得ることができずに適切な指示に従うことができないということが起こらないように「人の話は静かに聞く」ということの重要性を再確認しなければならないという共通認識ができた。
[高校/大学]
- ・ 会社で「防災」と考えると、大げさなことばかりになってしまい、結局は「大変過ぎて無理だ」となってしまうことが多かったが、もっとも簡単に身の安全を確保する方法を改めて認識できたので、これからも「忘れないように」実施していこうと思う。[医療/福祉関係機関]
- ・ 今回の取り組みに関しては、短時間で終了するのでよかった。[その他]

【防災対策について】

- ・ 訓練参加時の写真を見て事務机周辺の整理も必要と感じた。[その他]
- ・ 非常持ち出し袋の点検を実施するきっかけとなった。[個人/家族]
- ・ 体育館のような広い場所では、日頃から意識して避難場所を確保しておかないといけないことが、この訓練を通じて初めて皆が理解した。
[町内会/近所のグループ]

⑦ 訓練に対する意見・要望〔主な回答を抜粋〕

【訓練継続について】

- ・ 毎年、訓練をすることが大事だと思う。〔保育園/幼稚園〕
- ・ 今後も定期的に行った方が良いと思う。〔企業〕
- ・ 県から発信し、１年につき３回していただけるとより定着すると思う。〔高校/大学〕

【訓練の広報について】

- ・ 事前のPRをもっとしていただきたい。例えば、TVでの呼びかけ、ポスター等の配布など。こちらはお客様対応が主な業務ですので、そういった方に理解していただくためにもお願いしたい。〔その他〕
- ・ 県からの通知がわりと間際になったので、１ヶ月以上前に周知できるように取り組んでいただきたい。〔小中学校〕
- ・ 実施した日の夕方のNHKのテレビで模様を伝えるニュースが流れていたが、実施前からの広報活動をもっと行っていただければ良かった。〔医療/福祉関係機関〕
- ・ たまたま所属していた職場では本案内が通達されましたが、それ以外のところからは本訓練の案内を見うけられなかった。また、何人かの学生に聞いてみたが、認知度は低かった。周囲の人がみな訓練に参加しているならいいのだが、周囲の人が何も知らない状況のなか、一人で訓練するのは恥ずかしく、勇気がある。〔高校/大学〕

【訓練の名称について】

- ・ なぜ「シェイクアウト」と英語で表記するのかわからない。地震の訓練だということがわかりにくい。〔高校/大学〕
- ・ 「シェイクアウト」の名称にインパクトがあり良かった。〔小中学校〕

【訓練開始の合図について】

- ・ 館内放送でのアナウンスのため、リアリティに欠ける。奈良県一斉でするのであれば、携帯電話やテレビなどのメディアも利用し、実際の「緊急地震速報」に合わせてしたほうがいいのではないか。〔医療/福祉関係機関〕

【防災意識の醸成について】

- ・ 全県的な取り組みを行い、県民全体の防災意識が向上することを期待する。初めての訓練であったが、本日の訓練に県民の何割に相当する人が参加したのか、公表して頂きたい。〔企業〕
- ・ 職員に対する意識付けにおいて非常に効果があったと思う。今後についても積極的に参加を考えています。〔医療/福祉関係機関〕
- ・ 生徒は真剣に取り組んでくれて、訓練の成果はあったと思う。指導する教師が工夫を加え、学校が独自にする避難訓練と組み合わせてより防災意識を高めていきたい。〔小中学校〕

【学習資料について】

- ・ 今後、様々な防災に関する資料や訓練に関するマニュアルなどがあれば教えて頂きたい。〔医療/福祉関係機関〕

- ・NHKの緊急地震速報やNTTやauの安否確認システムなど整備されているシステムを活用して、その対応や使い方等も学習できる機会にして頂きたい。[医療/福祉関係機関]

【その他】

- ・奈良県地震防災週間で市町村での活動があまり感じられない。[個人/家族]

4 次年度実施に向けて

(1) 訓練の事前周知について

- ・今回の実施経験を生かし、参加種別ごとの実施例を紹介しながら一斉訓練の重要性・効果を打ち出し、周知を図っていく。
- ・県民・企業への一般的な周知については、効果的なアプローチ手法を検討するとともに、早期に実施することにより、県民の認知度を高め、参加登録に結びつける。
- ・今回の訓練では県内企業の参加登録が伸び悩んだため、企業への広報手法について、検討を進めていく。

(2) 訓練開始の合図について

- ・館内放送がない施設や個人参加者においても、訓練開始の合図をわかりやすくスムーズに行えるようにするため、スマートフォンのアプリの活用や緊急地震速報メールの訓練活用等の活用について、検討を進めていく。

資料編

○参加団体一覧（順不同）

【自主防災組織、町内会/近所のグループ、仲間/任意のグループ】

所在地	組織名
奈良市	奈良市鶴舞地区自主防災防犯協議会
奈良市	右京地区自主防災隊
橿原市	新中町自治会
橿原市	耳成ピーティエー オービー テニスクラブ
橿原市	中町防災会
生駒市	大北
生駒市	北新町
生駒市	鹿ノ台西2丁目
生駒市	鹿ノ台西3丁目
生駒市	辻町アーバンライフ
生駒市	ひかりが丘自治会自主防災会
生駒市	山崎町
生駒市	月見町第2ガーデンハイツ
生駒市	獅子ヶ丘自治会自主防災会
上牧町	桜ヶ丘2丁目自治会
上牧町	服部台自主防災会
広陵町	馬見北2丁目自治会及び自主防災会
広陵町	広陵町馬見南5丁目自主防災会
河合町	泉台自主防災会

他、参加を公表しない55団体

【保育園/幼稚園】

所在地	組織名
桜井市	桜井南幼稚園
御所市	御所幼児園
生駒市	いちぶちどり保育園
生駒市	會津生駒保育園
生駒市	會津壺分保育園
生駒市	あすか野保育園
生駒市	生駒市内公立幼稚園
生駒市	いこま乳児保育園

生駒市	いこま保育園
生駒市	エンゼル幼稚園
生駒市	学研まゆみ保育園
生駒市	鹿ノ台佐保保育園
生駒市	白百合幼稚園
生駒市	ソフィア東生駒保育園
生駒市	登美ヶ丘駅前ピュア保育園
生駒市	奈良佐保短大付属生駒幼稚園
生駒市	はな保育園
生駒市	公立4ヶ園の保育園
宇陀市	榛原幼稚園
宇陀市	榛原東幼稚園
宇陀市	室生子ども園
宇陀市	大宇陀幼稚園
平群町	はなさと保育園
平群町	南保育園
平群町	平群幼稚園
斑鳩町	たつた保育園
上牧町	上牧幼稚園
上牧町	やまびこ保育園
王寺町	王寺南幼稚園
王寺町	王寺北幼稚園
広陵町	広陵北幼稚園
広陵町	真美ヶ丘第二小学校付属幼稚園
広陵町	広陵西幼稚園
河合町	河合幼稚園

他、参加を公表しない7団体

【小中学校】

所在地	組織名
奈良市	育英西中学・高等学校
奈良市	椿井小学校
奈良市	飛鳥小学校
奈良市	鼓阪小学校
奈良市	済美小学校
奈良市	佐保小学校

奈良市	大宮小学校
奈良市	都跡小学校
奈良市	大安寺小学校
奈良市	東市小学校
奈良市	平城小学校
奈良市	辰市小学校
奈良市	明治小学校
奈良市	帯解小学校
奈良市	精華小学校
奈良市	伏見小学校
奈良市	富雄南小学校
奈良市	富雄北小学校
奈良市	田原小学校
奈良市	柳生小学校
奈良市	興東小学校
奈良市	あやめ池小学校
奈良市	鶴舞小学校
奈良市	鳥見小学校
奈良市	登美ヶ丘小学校
奈良市	六条小学校
奈良市	青和小学校
奈良市	右京小学校
奈良市	東登美ヶ丘小学校
奈良市	二名小学校
奈良市	西大寺北小学校
奈良市	富雄第三小学校
奈良市	平城西小学校
奈良市	大安寺西小学校
奈良市	三碓小学校
奈良市	神功小学校
奈良市	朱雀小学校
奈良市	済美南小学校
奈良市	鼓阪北小学校
奈良市	伏見南小学校
奈良市	佐保台小学校
奈良市	佐保川小学校

奈良市	左京小学校
奈良市	月ヶ瀬小学校
奈良市	並松小学校
奈良市	都祁小学校
奈良市	吐山小学校
奈良市	六郷小学校
奈良市	春日中学校
奈良市	三笠中学校
奈良市	若草中学校
奈良市	伏見中学校
奈良市	富雄中学校
奈良市	都南中学校
奈良市	田原中学校
奈良市	柳生中学校
奈良市	興東中学校
奈良市	登美ヶ丘中学校
奈良市	平城西中学校
奈良市	二名中学校
奈良市	京西中学校
奈良市	富雄南中学校
奈良市	平城中学校
奈良市	飛鳥中学校
奈良市	登美ヶ丘北中学校
奈良市	都跡中学校
奈良市	平城東中学校
奈良市	月ヶ瀬中学校
奈良市	都祁中学校
奈良市	富雄第三中学校
桜井市	纏向小学校
桜井市	安倍小学校
桜井市	大三輪中学校
桜井市	桜井小学校
桜井市	桜井中学校
桜井市	桜井東中学校
桜井市	織田小学校
五條市	智辯学園中学校

生駒市	生駒東小学校
生駒市	生駒南第二小学校
生駒市	生駒南中学校
生駒市	上中学校
生駒市	桜ヶ丘小学校
生駒市	鹿ノ台小学校
生駒市	鹿ノ台中学校
宇陀市	室生中学校
宇陀市	室生西小学校
宇陀市	大宇陀中学校
宇陀市	榛原中学校
平群町	平群北小学校
平群町	平群南小学校
平群町	平群中学校
平群町	平群小学校
安堵町	安堵中学校
三宅町	三宅小学校
川西町 三宅町	式下中学校
田原本町	南小学校
高取町	高取中学校
上牧町	上牧第二中学校
上牧町	上牧中学校
王寺町	王寺南中学校
王寺町	王寺北小学校
広陵町	真美ヶ丘第一小学校
広陵町	広陵西小学校
広陵町	真美ヶ丘第二小学校付属幼稚園
吉野町	吉野小学校
十津川村	西川第二小学校

他、参加を公表しない14団体

【高校/大学、その他学校】

所在地	組織名
奈良市	奈良朱雀高等学校
奈良市	奈良大学附属高等学校

奈良市	国立大学法人奈良教育大学
奈良市	平城高校
奈良市	高円高校
大和高田市	高田高校
天理市	添上高等学校
天理市	飛鳥未来高等学校 奈良本校
橿原市	奈良県立医科大学
橿原市	橿原高校
橿原市	畝傍高校
五條市	智辯学園
香芝市	香芝高校
三郷町	西和清陵高校
斑鳩町	法隆寺国際高校
田原本町	磯城野高等学校
田原本町	県立高等養護学校
高取町	高取国際高等学校
王寺町	王寺工業高等学校
広陵町	大和広陵高校
大淀町	県立大淀養護学校

他、参加を公表しない2団体

【医療/福祉関係機関】

所在地	組織名
奈良市	株式会社ひまわりの会
奈良市	社会福祉法人 晃宝会 あじさい園
奈良市	特別養護老人ホーム サンタ・マリア
奈良市	社会福祉法人佐保会 軽費老人ホーム佐保苑
奈良市	社会福祉法人 福寿会
奈良市	社会福祉法人奈良苑
奈良市	社会福祉法人大和まほろば会
大和高田市	社会福祉法人大樹会 和里（にこり）
大和郡山市	特別養護老人ホーム瑞祥苑
橿原市	社会福祉法人 長生会
橿原市	社会福祉法人聖寿会 特別養護老人ホームかなはし苑
橿原市	社会福祉法人 聖寿会 介護老人保健施設リンク橿原
橿原市	社会福祉法人うねび会

橿原市	奈良県看護協会
桜井市	社会福祉法人清光会 特別養護老人ホーム秀華苑
桜井市	社会福祉法人大和桜井園
五條市	社会福祉法人 三寿福祉会 友喜苑
五條市	社会福祉法人 正和会
五條市	社会福祉法人祥水園
五條市	社会福祉法人三寿福祉会グループホーム友徳苑
五條市	社会福祉法人三寿福祉会友語苑
御所市	社会福祉法人 三寿福祉会 介護老人福祉施設 友幸苑
御所市	社会福祉法人仁南会 国見苑
御所市	社会福祉法人仁南会グループホームつぶら・すじゃく
御所市	社会福祉法人三寿福祉会グループホーム友楽苑
生駒市	スローライフ生駒
香芝市	和里（にこり）香芝
香芝市	大和園白鳳
香芝市	特別養護老人ホームすばる
葛城市	社会福祉法人晴幸福祉会
葛城市	社会福祉法人葛城市社会福祉協議会（葛城市福祉総合ステーション）
広陵町	特別養護老人ホーム 大和園 養護老人ホーム 大和園広陽

他、参加を公表しない1団体

【企業】

所在地	組織名
奈良市	西日本電信電話株式会社 奈良支店
奈良市	一般社団法人 奈良県LPガス協会
奈良市	キンキ・パートナーズ株式会社
奈良市	株式会社加藤商会
大和高田市	大和ガス株式会社
天理市	西日本旅客鉄道株式会社王寺鉄道部天理駅

【その他】

所在地	組織名
奈良市	独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所
奈良市	奈良地方気象台
奈良市	奈良労働局

奈良市	奈良財務事務所
奈良市	農林水産省近畿農政局奈良地域センター
奈良市	奈良市消防局
生駒市	生駒市消防本部・署
田原本町	公益社団法人奈良県栄養士会
大淀町	大淀労働基準監督署

他、参加を公表しない4団体

【地方公共団体】

奈良県、奈良市、大和高田市、天理市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、天川村、十津川村、下北山村、川上村

○啓発リーフレット

(表)

NARA SHAKEOUT!

ナラ・シェイクアウト

— みんなで取り組む・奈良県一斉地震行動訓練 —



まず低く



頭を守り



動かない

DROP! COVER! HOLD ON!

2014.7.9 10:30AM

参加者は、7月9日(水)午前10時30分、一斉にそれぞれの場所で上の「まず低く、頭を守り、動かない」の3つの動作を行うなど、安全確保行動を1分間行ってください。

※訓練は県民一斉参加が原則ですが、ご都合に合わせて7月5日(土)～13日(日)(奈良県地震防災週間)の期間で日時を変更して実施しても構いません。

インターネット・FAXによる事前の参加登録にご協力ください!

主催：奈良県



公式認定
The Great Japan
Shake Out
認定番号 260023 号



7月9日(水)午前10:30
奈良県一斉地震行動・シェイクアウト
認定番号 260023 号



公式認定
The Great Japan
Shake Out
(E-ネオ)シェイクアウト



(裏)

シェイクアウト訓練とは？

地震が発生した瞬間に、あなたの身を守るために、その場で気軽に参加することができる新しい形の訓練です。家庭で、会社で、学校で、グループで、みんなでやってみませんか。一緒に参加していただける方はインターネットまたはFAXで参加登録をお願いします。

訓練の方法

① 訓練前

事前学習・・・地震、防災に関する知識を奈良県ホームページなどで学習する

＜参考資料＞奈良県「わが家の災害対策」(パンフレット)

<http://www.pref.nara.jp/secure/114130/wagayanosaigaitaisaku.pdf>

② 訓練当日（7月9日）

訓練開始時刻（午前10時30分）にそれぞれの場所で安全確保行動を1分間行う

③ 訓練終了後

避難場所、避難経路の確認や持ち出し品の確認を行うなど、さらなる防災対策に取り組みましょう！

参加登録のお願い

シェイクアウト訓練に参加いただくにあたっては、まず奈良県ホームページにある奈良県電子自治体共同運営システム「e-古都奈良」で、平成26年7月8日（火）までに事前の参加登録をお願いします。なお、インターネットを利用できない場合は、下の「参加登録票」に必要事項を記入して、奈良県防災統括室までFAXでお送りください。

FAXでお申し込みの場合

「参加登録票」

FAX 番号 0742-23-9244 申込受付期間 平成26年7月8日（火）

参加形態	※以下の中から該当する項目を○で囲んでください。 ・個人/家族 ・町内会/近所のグループ ・仲間/任意のグループ ・自主防災組織 ・小中学校 ・高校/大学 ・保育園/幼稚園 ・其他学校 ・医療/福祉関係機関 ・企業 ・協同組合（農業/漁業/林業） ・其他（ ）		
参加人数	人	所在する市町村	
組織名	※企業・団体・行政機関等の参加の方のみ、ご記入ください。		
連動した 訓練の実施	※身を守る行動以外の訓練内容を実施する予定である場合は、該当する項目を○で囲んでください。 （複数回答可） ・避難訓練/避難誘導訓練 ・初期消火訓練 ・応急救護訓練 ・搬送訓練 ・情報伝達訓練/安否確認訓練 ・避難所開設訓練 ・其他訓練（ ）		
ホームページ又はその他資料上に、「組織名」「訓練内容」を掲載してよろしいでしょうか。 該当する項目を○で囲んでください。 はい いいえ			

お問合せ先 奈良県防災統括室 TEL 0742-27-7006 （直通）

○駅貼りポスターの掲載

【県内の近鉄及びＪＲの２７駅（６/１９～７/９）※下記画像は新大宮駅】



○訓練の様子

【桜井市立安倍小学校】

① 教室内で児童が安全確保行動をとっているところ



【奈良市立平城西中学校】

① 美術室内で3年生が安全確保行動をとっているところ



【(独)水資源機構 布目ダム管理所】

① 職員が操作室で安全確保行動を行っているところ



② 職員が避難通路の確認を行っているところ

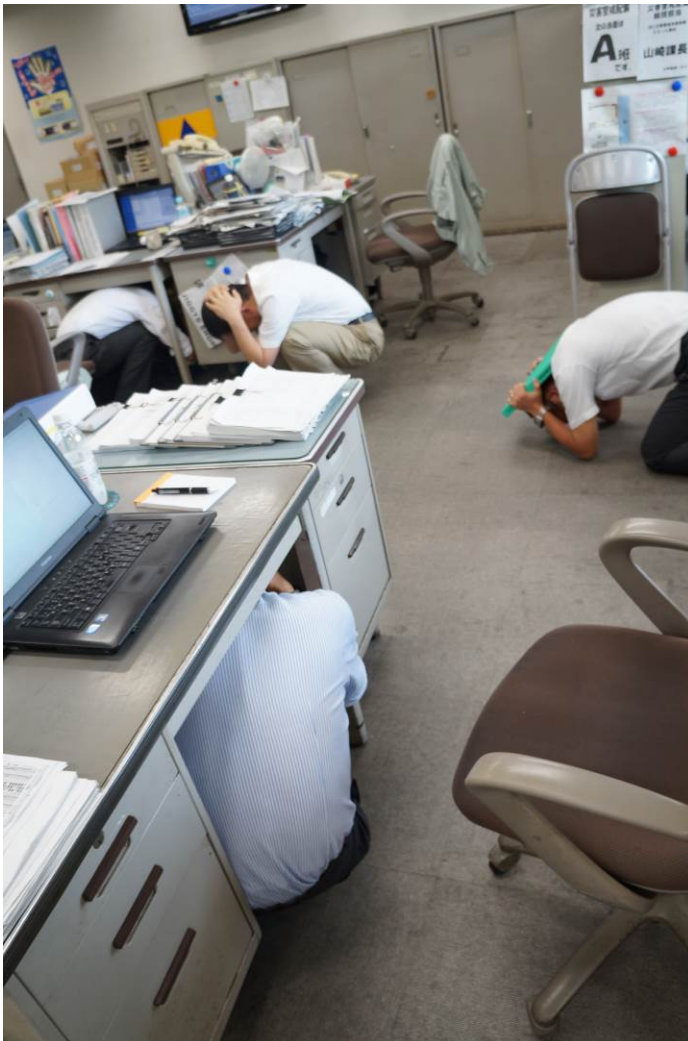


③ 職員が避難し集合しているところ



【奈良県防災統括室】

① 職員が執務室で安全確保行動を行っているところ



② 災害対策本部初動立ち上げ訓練



③ 避難経路の確認

